

第6回 千曲市林業振興協議会

平成24年2月8日(水)

13時30分～16時7分

上山田庁舎 302会議室

第6回千曲市林業振興会協議会

千曲市林業振興協議会出席委員

長野森林組合	更埴支所長	春日	賢一
NPO 法人千曲の森	理事長	唐澤	伊和男
区長会連合会更埴支部	土口区長	小林	洋一
〃 戸倉支部	羽尾第4区区長	北村	力男
〃 上山田支部	漆原自治会長	堰口	治男
財産区議員	財産区議長	塚田	勝壽
鳥獣保護委員		山崎	文典
長野地方事務所	林務課長	田島	裕志
千曲市環境市民会議	代表	幸野	耿
千曲市建設業協会	理事	本保	雅規
みどりの少年団育成会	更級小学校長	近藤	博子
一般公募		徳永	勝
一般公募		櫻井	信一
一般公募		池田	靖子
一般公募		清水	八重子

欠席委員

ちくま農業協同組合	営農部長	北村	延隆
-----------	------	----	----

出席職員

経済部長	柳澤	正彦	長野地方事務所	林務課	鷺野	達雄
農林課長	平林	修	〃		高野	毅
森林整備係長	吉里	正紀				
森林整備係	竹内	正軌				
〃	柳町	恵子				

《会議の経過》

平林農林課長 本日は、何かとお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。定刻になりましたので、第6回千曲市林業振興協議会を開催いたします。私、進行を努めさせていただきます農林課長の平林と申します。よろしく申し上げます。

先ごろ財産区議員の改選がございまして、これに伴い財産区議員選出の委員さんが宮坂正義さんから、新議長塚田勝壽さんに変更となりましたのでご報告いたします。

続きまして、唐澤会長さんにご挨拶をいただき協議を進めさせていただきます。

唐澤会長 大変ご苦労さまです。本日の協議事項につきまして、皆様からのご意見をお聞きする中で進めさせていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

さっそくではございますが、協議事項に入らせていただきます。

(1) 千曲市森林整備(変更)計画について事務局より説明申し上げます。

吉里係長 (説明)

唐澤会長 説明が終わりました。質問等ございましたら申し上げます。

〇〇委員 大池の奥に弁天の泉がありますが、あの辺りは水源涵養となっていないのはどうしてですか。

林務課高野主査 ゾーニングの一番の目的は外資系の方が山を買って、山を切り水をとってしまうのを防止する意味合いが強いです。水源はたくさんありますが、伐採に制限をします。既存の保安林ですと皆さんに同意をいただいておりますが、保安林以外の場所につきましては新たに規制をかけるということで、同意を得ずに規制をかけるようになってしまいます。

水源涵養となっていない所もありますが、そうしてしまうと皆伐ができなくなってしまう。大池に関しましては市有林ですので、買収はないだろうという点も含んでおります。水源涵養になっていないというご意見もあるかと思いますが、今後3年の中で検討し、説明をしながら指導していかねばと考えております。

〇〇委員 山を守っていくには、水源林として大切にしていかなければいけない。事情もよくわかりましたので、3年後に向けて考えていってほしいと思います。

〇〇委員 水源地の場所で木を切る計画があった場合、市町村へ事前に伐採届を提

出しなければならない。その内容を確認しながら指導ができます。

〇〇委員 水源の買収につきましては、個人所有の広い場所をターゲットにしているようですが、市内においては伐採届で、皆伐であるか間伐であるか確認ができると思います。
他にご質問のある方。

〇〇委員 色のない所は何の規制もかかっていないという事でいいのでしょうか。

吉里係長 森林のエリアではあるが、色の塗られていない所は特に指定された森林ではございません。

唐澤会長 他に質問等ございましたらお願いします。ないようですので続きまして、(2)千曲市における今後の松くい虫防除対策について、説明をお願いします。

平林農林課長 (説明)

唐澤会長 ありがとうございます。続きまして、県のあり方について説明をお願いします。

田島委員 (説明)

唐澤会長 ありがとうございます。
委員さんから提示のありました資料につきまして説明をお願いします。

〇〇委員 (説明)

唐澤会長 市・県・〇〇さんから説明をお聞きしましたが、委員皆さんからのご意見をお聞きしてから、ご意見・ご質問等をお願いしたいと思います。

〇〇委員 今後の松くい虫防除につきましては、複合的に考えていくべきだと思っております。健康面での問題もありますが、山の土砂崩落を守る事が大切だと考えます。その中で空中散布ありきではなく、空中散布・伐倒処理・場所によっては、樹幹注入・樹種転換等も必要。伐倒して木が枯れる、枯れた場所は当然崩落が起きるものなので、抵抗性の強い樹種を植栽するなどを含め考えていかなければならないと思います。

〇〇委員 平成21年度から上田市では中止しましたが、現在の被害状況等について把握しているのでしょうか。

- 〇〇委員 散布をしなくなってから人間への被害は出ていないそうです。ただし、千曲市よりにお住まいの方は多少なりとも被害はあるそうです。
- 〇〇委員 松に対しての効果はどうなのでしょう。中止をしてから被害が広がっているのか。
- 平林農林課長 把握しておりません。
- 〇〇委員 先程、防除をしてある所としていない所を現地へ行って見てきました。差は出ておりますので防除は効果があると思います。
県からの今後のあり方の説明で、実施する市町村が県で示されている対応が本当にできるのかどうか疑問です。千曲市でもあり方に基づいて実施していくようになるのでしょうか。
- 平林農林課長 県からの指導・支援を行っていく事になっておりますので、実施する場合は、あり方に基づいてやっていきたいと思っております。
- 〇〇委員 県で公表しています岩井堂山の資料ですが、現地調査をした結果、坂城側は松枯れはひどく、千曲市側は松枯れはないという事ですが、千曲市側は伐倒駆除をした後の写真でありますし、坂城の方は県からの指示で伐倒駆除はしないようにと要請があったと聞いています。その結果、伐倒駆除は実施していない。それを比較して写真を公表するのはとても不適切な資料だと言わせていただきます。
- 〇〇委員 県庁の方へその話がいつとお聞きしまして、1月末に現地へ行きまして細かな調査をしてきました。山の上のほうは写真でもよくわからないので、実際に千曲市側と坂城町側を上まで歩いて来ました。
ひとつは、千曲市側の岩井堂山は、枯れている松はなかったのは事実です。散布が出来なかった箇所では枯れている松はありました。上に行ってから坂城側に入り、ジグザグに下りて来ました。松枯れの特徴なんだと思いますが、スポット的に枯れていました。3～4本位固まって枯れていて、枯れていない松があつて、また枯れた松がある。といった現象が起きていました。中止してから3年経ちますので、3年位の間で枯れたのだという感じはありました。
もうひとつは、伐倒駆除の3年間の処理量で比較しますと坂城側が圧倒的に多いです。県が伐倒を止めてくれと言った事実は全くありません。県庁の方から、メールを発信された方に返事をしてございますので、誤解の無いようにお願いします。
- 〇〇委員 その内容は、坂城町の農林課で確認しました。

- 〇〇委員 去年、発注時期が遅れたのは事実です。千曲市の方は発注が早く処理ができました。3カ年を比較すると、坂城町の方が処理量が多いです。
- 〇〇委員 松の生えている量も、坂城の方が多いですね。
- 〇〇委員 岩井堂山のこっち側とあっち側では坂城の方が多いです。現地を歩いてみて、空中散布の効果はあると感じました。
- 〇〇委員 空中散布実施市町村が7市町村あり、中止をした市町村が13市町村ありますが、中止をした市町村は、こういった会議等を開催し中止したのを知りたいです。
戸倉地区を回ってみると、大きな松ほど枯れている。小さな松は元気がいい。なので、小さい松を植えるとかいった事も必要ではないか。駅の裏にある大きな松が枯れたままになっている。その場所は、防除をしておりません。それで、枯れている松が多いのか、大きな松だけが枯れるのか、その点もお聞きしたい。
- 平林農林課長 上田市は21年度から中止しております。それに伴い坂城町・青木村が中止しました。他の市町村でございますが、16年度から多くの市町村が中止しておりますが、こちらにつきましては把握してございません。協議会があるかどうかですが、坂城町につきましては被害が出ているという事で協議会を立ち上げておりますが、以前はなかったと思われます。伐倒駆除につきましては、現場を確認して対応していきたいと思ひます。
- 〇〇委員 私の家は、測定地点から直線で300m程の所にあります。空中防除をしていながら、今までに無いところに被害がでてるので、空中防除が全てではないと思ひます。アンケート結果を見ますと、回答者28人中、上山田地区は7人しかいない。
子供に対する被害、人間に対する被害が明確になってくるとももっともと考えてくると思ひます。
私自身、散布区域の近くに住んでいまして、小学生からもそういった話を聞いた事もないし、あんまり感じた事がないです。
松くい虫を駆除するには空中防除しかないのかなと考えます。
- 〇〇委員 消毒が効くのか効かないのかについてですが、私の地元では20年位前から、市から農薬をいただき散布作業を行っております。3年ばかりやらなかった時期がありましたが、その時に貴重な松が3本枯れました。その後は継続して散布を行っておりますが、散布している所では松枯れはありません。空中散布が一番効果的で、持続していく事が重要だと思ひます。
- 〇〇委員 以前、バスで現地を視察した時倉科の山を見ました。説明の中で、松代

地震の時に山から転がってきた大きな岩・石が松林に引っかかり、ロープで落ちないようにしてあると聞きました。その松が枯れてきてしまったので、県の方でその岩を撤去する工事を行いました。

倉科にいますと、岩を砕く音ですとか、破壊した時にバラバラと落ちる音が一日中響いていました。山を背負っている家なんかでは、ロックフェンスは設置してはありますが、小石が落ちてくる音がしています。何かしら山を守っていかなければいけないと感じております。

〇〇委員

更級小学校も散布区域に近いのだと改めて感じました。私自身倉科の散布区域の近くに住んでおります。

学校という立場にいますとやはり、子供達の健康被害は気になります。ただ、影響がどうかにつきましては、それだけでは一概には言えないかもしれない。個人差もありますので、今後よく見て行きたいと思っていますので、空中散布等々につきましてはしっかりと検討・話し合いをし、よりよい方向へと思っています。

今の山は荒れていると思います。山のあり方そのものも子供達と考えていかなければいけないと感じました。

〇〇委員

有明山へ登っていますが、風が強い時に5本位倒れた。所有者はわかりませんが、危ない木で切れる木は切ってきました。松枯れになっているのは太くて大きい木が多い。

空中散布をやるようになってからなのか、伐倒が増えたせいかな、枯れたままになっている。伐倒をもう少しやっていただきたい。傾斜地に伐倒した木を積み重ねて置いてある。その方法がいいのだとは思いますが、倒したままでもいいのではないかな。積み上げた物が崩れてきたら危険である。

市民の方に、もっと関心を持ってもらう事が大事だと考えます。

平林農林課長

去年は春だけ伐倒駆除を行いました。過去には秋も行っておりました。伐倒量も増やしたいが、予算的な面もあり難しいのが現状です。

〇〇委員

心情的にはやめてもらいたいという気持ちもある。しかし、現状を見ると他に方法がないのだと思います。

先程、地方事務所の方が現地調査を行ったお話をお聞きしましたが、第3者の方が同行していないのはまずいと思います。

松枯れを何とかしないといけない気持ちはあります。

〇〇委員

アンケート調査をしたり、空中散布中止の要望書を提出させていただいています。それは、子供達に大変な被害が出てきている。地元のお母さんの話ですが、クラスによっては担任の先生の他に補助の先生がついていますが、それでは間に合わない状況のようです。3人の子供さんがいらっしゃるお母さんの話ですが、上の2人はとても元気で勉強もできる。しかし、

3人目の子供さんは障害があり、大変苦勞されているようです。

農薬が、脳に障害をきたしている。学校現場では、障害をお持ちの子供さんが増えてきている。上田市でなぜ中止したかと言うと、上田市で保育園を經營しております田口さんは、化学物質過敏症なので、空中散布をすると、息が出来ないほど苦しくなる。園児達も鼻血を出したり、頭が痛いと言い、そのお母さん達も具合悪くなった。その原因は農薬なので、すぐ佐久総合病院で受診し、治療してもらったので元に戻った。保育園位の子供だったので元に戻りましたが、胎児だとか乳幼児の内に、脳細胞が一番発達する時期に神経を侵されると手遅れになってしまう。それが、発達障害の子が激増している大きな原因になっている。子供達を駄目にしてしまったら、松が残ってもどうにもならない。子供達を守らなければいけない。大勢の被害者が出て初めて考える。それでは遅いのです。現実に被害者はたくさん出てます。

松は枯れる前にたくさんの実を落として、枯れた所には小さな松が生えてきています。でも、子供を駄目にしてしまったら、どうしようもない。この事を第一に考えて審議していただかないと、この問題は解決しないと思います。

健康被害が出る場合、防ぐ事ができない場合は空中散布を中止するとありますが、ぜひお願いしたいと思います。

〇〇委員 発達障害は、空中防除とは直接の因果関係はなく、クラスに何人という割合は世界的なものである。

〇〇委員 空中防除とは直接関係ない場合もありますが、それが原因でなった場合もかなりあるはずです。いつから空中散布をし、障害児の状況を調べていただければ明らかになるはずです。

〇〇委員 その原因ははっきりとわかりませんが、農薬が全てだとは思いません。あるかもしれないし、ないかもしれない。様々な要因があると思います。健康被害はあるかもしれないが、それと発達障害を直接結びつけるのはいかがなものかと思えます。

〇〇委員 群馬県の医者へ行ったという理由をお聞きしたい。

〇〇委員 群馬県は県で散布を止めている。それは、子供達に影響が出ているためです。その青山小児科の先生は、農薬に詳しい人なのでそこへ行きました。

〇〇委員 昔は本気で山を守って来た。今の山は荒れているし関心がない。子供達もアレルギー体質の方が多いですが、昔はそんな事なかったように思います。自分の山は自分で守ってきましたが、今は山の手入れを人にやらせよう時代になっているのでよけい関心がありません。

松が枯れてしまうのも困ります。何が一番いいのか分かりませんので、皆さんと話し合っていかなければいけないと思っております。

〇〇委員

障害の多い子供さんが多いのは、食生活そしてそれに伴う日常生活の体力の差とかが、長い年月をかけて体にも変化が起きているのではないかと思います。ですので、その因果関係ははっきりしておりません。

たしかに大きな木ほど枯れてしまう。伐倒駆除をし、できない所は最小限の対策の中で、空中散布がいいのかなと思っております。

〇〇委員

東大の教授黒田先生によると、有機リン等の殺虫剤により脳神経を侵してしまう。なってからでは治せない。

群馬県では県で中止をしました。ぜひ、長野県でもそうしていただきたい。

16年度より中止している所が多いですがその理由もお聞きしたい。上田市は市長さんが中止を決定しました。上田市の50人程の保育園で、空中散布後7、8人のお子さんが一度に多動障害になったという事も聞いています。出雲市では、1,000人以上の健康被害がでたので中止した。

平林農林課長

次回の会議までにお調べしてご報告いたします。

〇〇委員

松くいの問題は、環境に対する問題と考えています。子供への問題は様々な要因によるものではないか。

田島課長

県としましては、あり方に沿ってやっていきたい。

本日の課題につきましては、順次ご報告していきたいと思えます。

以前は全ての松林を対象としていましたが、守るべき松林、被害が拡大している松林を守りましょう。と、大きな転換がありました。その影響が16年度にあった可能性があります。

唐澤会長

すぐ結論は出ませんので、次回、早い時期に協議会を開催したいと思います。大変ご苦労様でした。

(終了 16:07)